

電子音シグナルセット

NISHI

取扱説明書

品番：NT7502

このたびは本品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

● オプション

○NT7504 レースクロック

表示にLEDを採用し、屋内外問わず高い視認性を確保した簡易型タイマーです。本品と接続し自動スタートさせることができます。

構成：LED表示タイマー
操作用リモコン
電源ケーブル

○NT7503 クロックセンサーセット

レースクロックのスタートまたは、ストップ信号が出せる光電管です。

反射式を採用し、電源はレースクロックから供給されます。

構成：クロックセンサー(10mケーブル付き)
反射板
三脚
反射板固定金具

○NT7505 スタートシグナルケーブル(10m)

ピストルからのスタート信号をレースクロックに入力するときに使用します。



○NT7506 シグナルケーブル(100m)

○NT7507 シグナルケーブル(20m)

本品やクロックセンサーの信号をレースクロックに入力するときに使用します。

計測環境に合わせて長さを選んでください。



NT7506



NT7507

■ はじめに

本品は、学校体育及び陸上競技練習時のスタート合図用信号器です。

「ピストル音」「ブザー音」「ホイッスル」の3種類が選択できます。

「ピストル音」にはリコール機能が内蔵されています。また「LED」のフラッシュでスタート合図を目視することができます。

■ 仕様

●ピストル

サイズ：(W)150×(H)150×(T)30 mm

重量：約 120g (乾電池を除く)

信号出力：(形式)ノーマリーオープン A接点信号
(最大電圧)直流30V (最大電流)150mA

電源：単3乾電池×3本 (動作確認用)

光源：白色LED

台湾製

●ポータブルスピーカー

サイズ：(W)85×(H)110×(T)46 mm (突起物除く)

重量：約 250g (本体のみ、ケーブルなど除く)

材質：ABS

実用最大出力：20W(RMS)

インピーダンス：8Ω

周波数：100Hz～13KHz

入力：-20dB

バッテリー：リチウムイオンバッテリー
(3.7V/2200mAh)

連続使用時間：約 2時間

台湾製

●ポータブルスピーカー用充電器

入力：AC100 - 240V (50/60Hz)

出力：DC5V、350mA

充電時間：約 2～4時間

台湾製

※外観及び仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ

商品には万全を期しておりますが、万一不具合やその他ご不明な点などございましたら、ご購入店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

なお、輸送中に発生した異常や破損は賠償保険の対象になり、運送会社の証明が必要です。

株式会社ニシ・スポーツ お客様相談室

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目1番18号

TEL: 03-6369-9024

受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00

(土日、祝日及び弊社都合による休日を除く)

URL: <https://www.nishi.com/>

注意すること

- ピンマイクを使用する際は、ハウリングにご注意ください。
- 防水、防滴対策はしておりません。雨天時には使用しないでください。
- 製品の内部に金属ピンなどの異物を入れないでください。万一、これらが内部に混入した場合は、速やかに電源スイッチを切り使用を中止してください。

してはいけないこと

- 本来の用途以外で使用しないでください。
- 本品を屋外に放置しますと故障の原因になりますので、使用しないときは必ず雨などが直接当たらない場所に保管してください。
- 付属ケーブル以外はご使用にならないでください。焼損や故障の原因になります。
- ケーブルをキズつけたり、加工したり、重いものを載せたり、無理に曲げたりしないでください。感電や事故の原因になります。
- スピーカーの充電は、2～4時間を目安に行ってください。
充電終了後もランプは点灯したままですが、4時間以上の充電はしないでください。
- 濡れた手でケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。
- 本品の分解、改造は決して行わないでください。
- 屋外、高温、多湿、直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所には保管しないでください。

必ず行うこと

- 煙が出たり、異臭がするなど異常が発生したときは、すぐに電源を切り使用を中止してください。
- 保管時は、ポータブルスピーカーの電源スイッチを切り、ピストルの乾電池を抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、電源スイッチを切ってから行ってください。
- 本品に亀裂、裂け目など破損がないか、ご使用前に点検してください。もし異常があった場合は、使用しないでください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。

■ 点検について





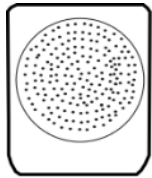



ご使用前に、下記点検表にもとづき、点検を行ってください。

	項目	内容
ピストル	本体	破損、変形、ネジなどの緩みがないか
	サウンドスイッチ	接触不良、スライドに異常がないか
	モードスイッチ	接触不良、スライドに異常がないか
	発光部	割れ、ガタツキ、発光不良がないか
	乾電池ケース	割れ、欠け、液漏れなどないか
ポータブルスピーカー	本体	破損、変形、ネジなどの緩みがないか
	電源、音量調節	接触不良、回転に異常がないか

■ 廃棄について

本品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従ってください。

■ 梱包品

			
ピストル	ポータブルスピーカー用 接続ケーブル	キャリングバッグ	取扱説明書
			
ポータブルスピーカー	ポータブルスピーカー用 ストラップ	ピンマイク	スピーカー用充電器

■ 各部の名称



モードスイッチが中央にあるとき (Ready ランプ消灯) は、スタート音のみの出力で、レースクロックは作動しません。モードスイッチが“左”にあるとき (Ready ランプ点灯) は、スタート音とスタート信号を出力します。

MIC: マイク差し込み口

POWER: 電源ランプ

音量調節
電源スイッチ兼用

スピーカー

LINE: ピストル接続口

スピーカー用ストラップ
接続箇所

ベルト用フック

D.C IN: 充電器差し込み口

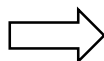
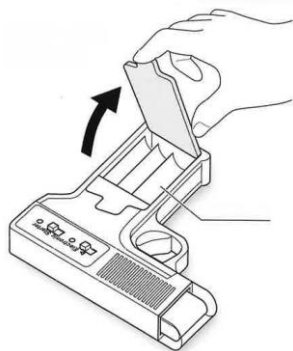
■ 使い方

● 準備

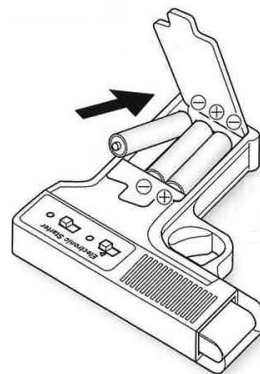
- (1) ピストル本体の乾電池ケースのフタを開け、単3乾電池3本（別売り）を入れフタを閉めます。
- (2) ポータブルスピーカーの音量調節を回して電源を入れ、充電されているか確認します。
（充電されていると緑のランプが点灯します）
- (3) ポータブルスピーカーの音量調節を最小方向に回し、一旦電源を切ります。
- (4) ピストルとポータブルスピーカー、ピンマイク、レースクロック（オプション）など使用する機器に接続します。

● ピストルの電池の入れ方

乾電池ケースのフタを開ける



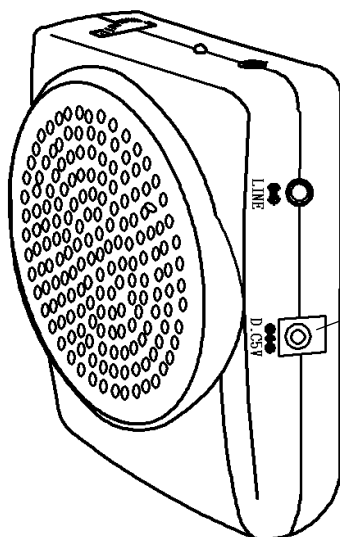
単3乾電池3本を入れ、フタを閉める
※+、-の向きに注意



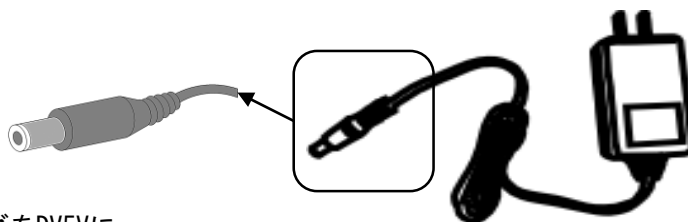
● ポータブルスピーカーの充電の仕方

ポータブルスピーカーの充電は、付属の充電器を使用してください。

- ① AC100Vコンセントにアダプターを差し込んでください。
- ② ポータブルスピーカー側面のDC5Vに充電器の充電プラグを差し込みます。
充電が開始されるとPOWERランプは、「緑」と「赤」交互に点滅します。
POWERランプが赤色に点灯すると充電完了です。



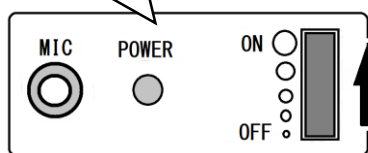
充電プラグをDC5Vに差し込みます



ポータブルスピーカー用充電器

● ポータブルスピーカーの電源の入れ方

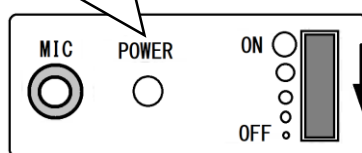
電源ランプ点灯（緑）



音量調節をON方向に回します

● ポータブルスピーカーの電源の切り方

電源ランプ消灯



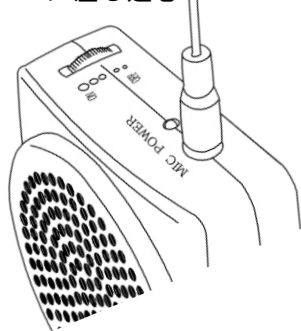
音量調節OFF方向に回します

● 接続の仕方

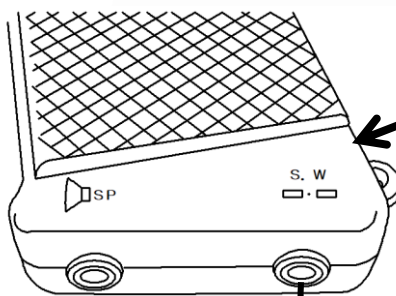
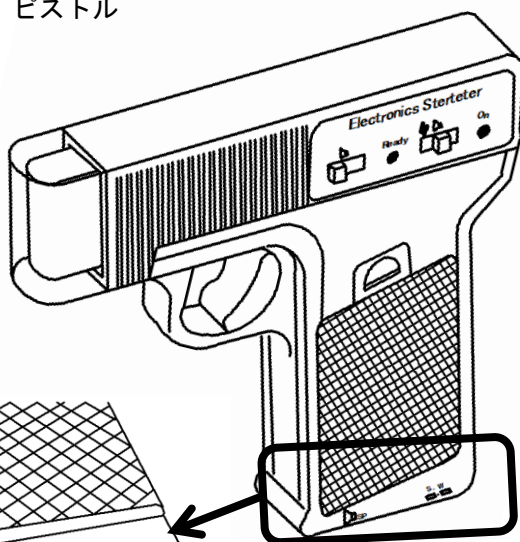
ピンマイク



MICに差し込む

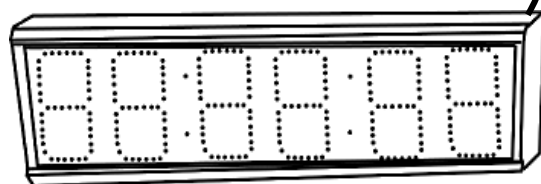


ピストル



SPに差し込む

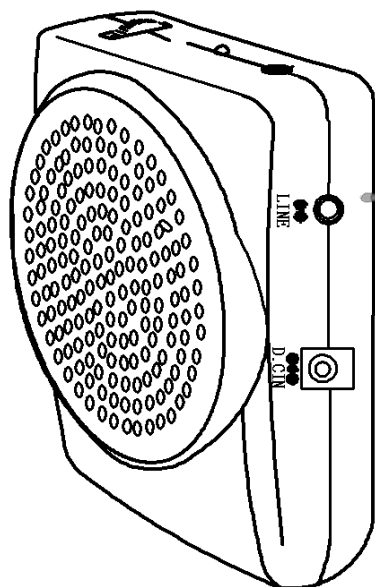
(オプション)NT7505
スタートシグナルケーブル



(オプション)
NT7504 レースクロック



ポータブルスピーカー用ケーブル



LINEに差し込む

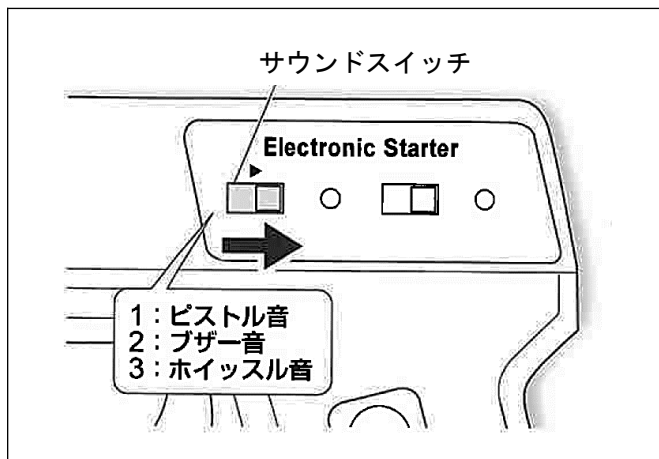
※ポータブルスピーカー用ケーブルについて
ケーブルのプラグは下図のように形状が
異なります。
モノラル側をピストルに、ステレオ側を
ポータブルスピーカーにそれぞれ接続して
ください。



モノラル側=ピストル

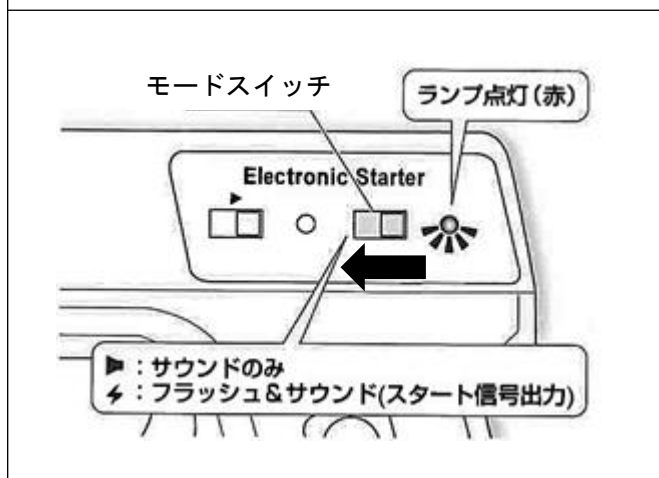


ステレオ側=スピーカー



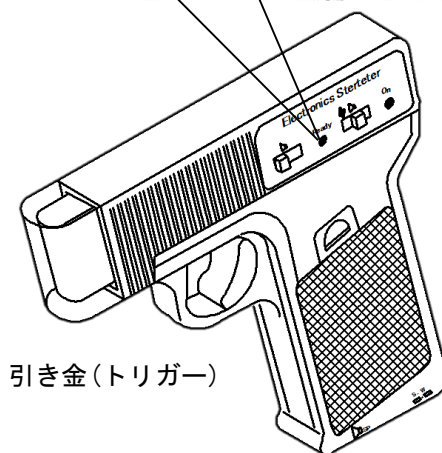
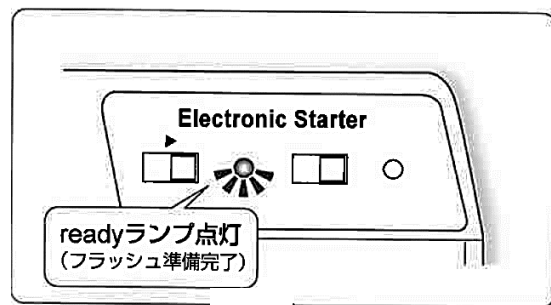
① サウンドスイッチでサウンドの種類を選択します。

1: ピストル音 2: ブザー音 3: ホイッスル音



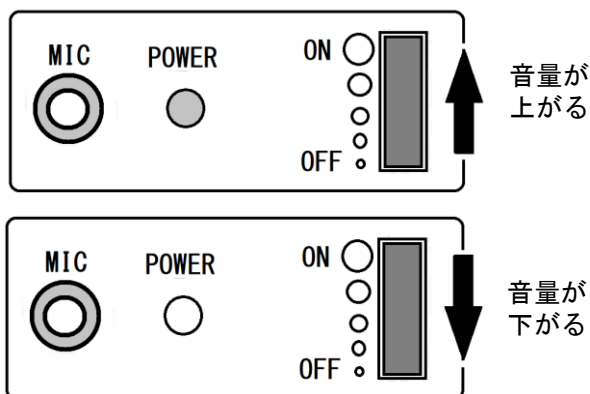
② モードスイッチをスライドして電源を入れます。電源が入ると赤いランプが点灯します。

▶ : サウンドのみ ⚡ : フラッシュ&サウンド

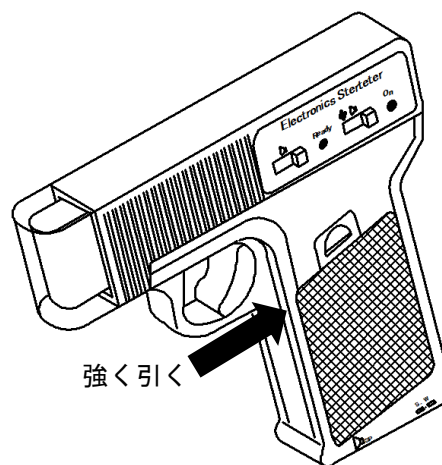


④ 引き金(トリガー)を引くと選択した音がスピーカーから出ます。フラッシュが準備完了になるとreadyランプが点灯します。
※フラッシュ使用の場合、次にフラッシュ発光に必要な電圧になるまで約3~5秒かかります。

③ スピーカーの音量調節を回してスピーカーの電源を入れ、音量を調節します。



③ スピーカーの音量調節を回してスピーカーの電源を入れ、音量を調節します。



⑤ スタート直後に再び引き金を引くと2回目の音が出て、リコールの合図になります。
※引き金(トリガー)は誤動作を避けるためかたくなっています。しっかり引いてください。

電子音シグナルセット・レースクロック・クロックセンサーセットについて 付 録



電子音シグナルセット (本品)

NT7502

紙雷管を使わないスタートピストルです。
音は3種類から選択できます。
音のほか、LEDのフラッシュでスタート合図
を目視できます。
単体での使用が可能です。

スタート音の確認はこちら
<https://youtu.be/jR6YXXUPGZ8>



レースクロック

NT7504

付属のリモコンでリモート操作が可能な簡
易タイマーです。
表示にLEDを使用し、屋内外を問わず高い視
認性を発揮します。オプションのクロック
センサーセットと連動させることができま
す。
単体での使用が可能です。



クロックセンサーセット

NT7503

レースクロックのオプションです。

クロックセンサー間の赤外線を通すると
信号がレースクロックに送られ、フィニッ
シュ（またはスタート）信号を入力します。

スタートシグナルケーブル

NT7505



電子音シグナルセットのオプショ
ンです。

ピストルからのスタート信号を、
レースクロックに入力するために
使用します。



シグナルケーブル (100m)

NT7506

シグナルケーブル (20m)

NT7507

レースクロックのオプションです。

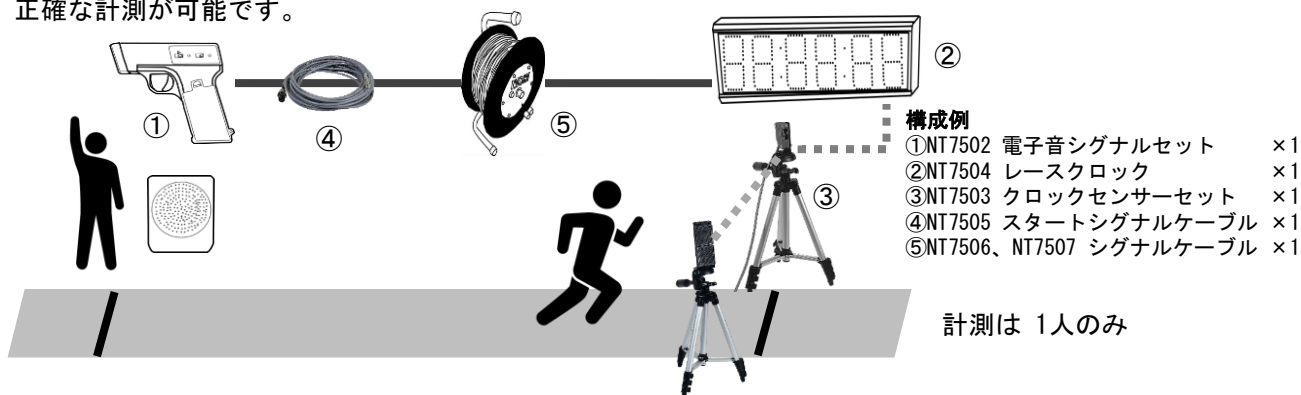
電子音シグナルセットまたはク
ロックセンサーの信号を、延長し
てレースクロックに入力するた
めに使用します。

組み合わせ例

タイム計測が1回の場合

(レースクロック設定：Id0-01)

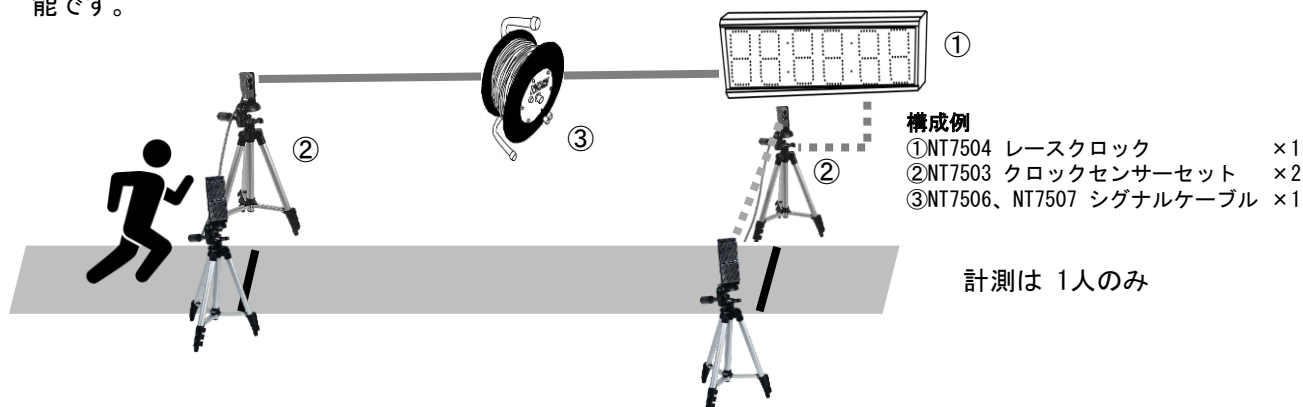
スタート信号は、ピストルから、ストップ信号はクロックセンサーから、それぞれ自動で入力されるため、正確な計測が可能です。



電子音シグナルセットを使用しない場合 (加速走でのタイム計測など)

(レースクロック設定：Id0-01)

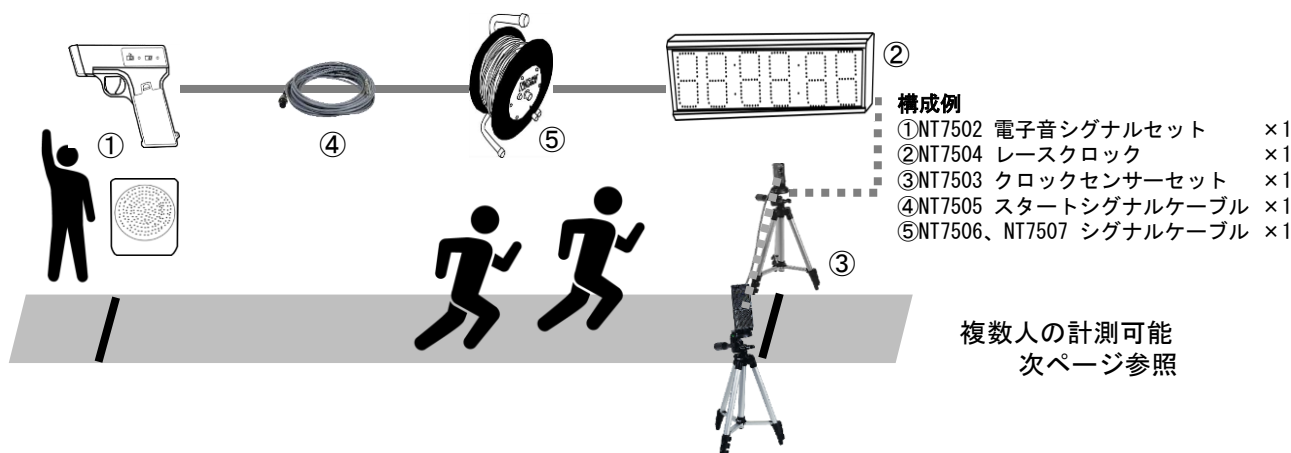
スタート、ストップ信号はクロックセンサーから自動でレースクロックに入力するため、正確な計測が可能です。



複数回計測や途中経過時間 (スプリットタイム) 計測したい場合

(レースクロック設定：Id0-99)

使用する機器はタイム1回計測と同じです。タイム複数回計測の場合は、レースクロックの設定変更が必要です。また、個別タイム (途中経過時間) は後からリモコンの▲▼キーで確認できます。



Q&A

Q. 複数人で同時にフィニッシュしても個別に測定されますか？

- A. レースクロックの設定が途中経過時間計測時のみ可能です。
 クロックセンサー間の赤外線が遮断されるとレースクロックに信号が入ります。
 そのため、赤外線が遮断されている間は次の信号がレースクロックに入りません。
 赤外線が遮断されている間に複数人がフィニッシュしても、最初に通過した選手の
 タイムのみ計測されます。

斜めから見た図




上から見た図




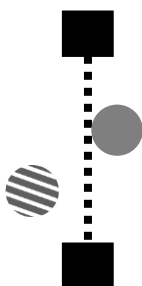
同着のため、タイムの計測は1回のみです。





赤外線が切れている間に通過するため、


 のタイムは計測されません。

 のタイムのみ計測されます。



 が通過してタイムを計測した後、

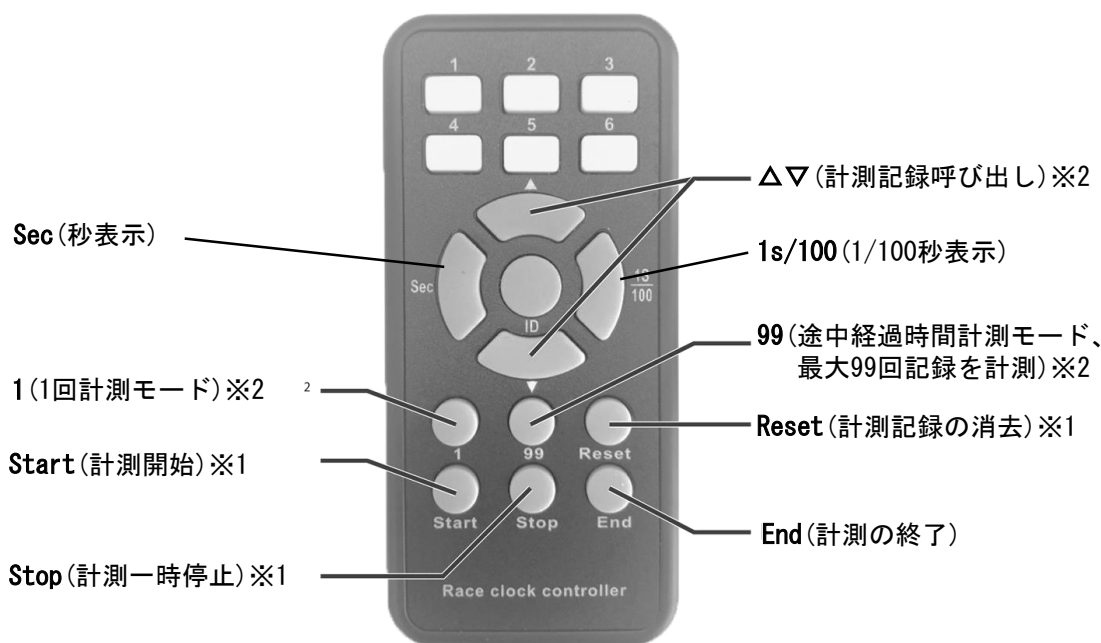
赤外線が繋ぎ直されてから  通過する

ため、 のタイムも計測されます。

Q. レースクロックのリモコンではどんなことができますか？

A. スタート、ストップ、リセットのほか、1回計測から途中経過時間計測へレースクロックの設定が変更できます。

途中経過時間計測の場合、個々の計測タイムの確認操作もリモコンで行います。



※1 表示盤本体での操作も可能です。

※2 表示盤本体での操作はできません。

※記載のないボタンは使用しません。

Q. 複数回での計測はできますか？

A. 99回までタイム（スタートからの途中経過時間）の計測が可能です。

設定の変更手順は以下のとおりです。

1回計測から複数回計測に切り替える場合

- ①リモコンの99を押す。
- ②表示が「Id0-99」になったことを確認する。



複数回計測から1回計測に切り替える場合

- ①リモコンの1を押す。
- ②表示が「Id0-01」になったことを確認する。

